

BIM 標準ガイドライン 目次及び構成(素案)

はじめに

目次

1. BIM 標準ガイドラインとは

【資料6】

官庁営繕事業における BIM ガイドライン 総則やシンガポール VDC ガイド、各団体のヒアリング資料などを参考に、イントロを検討。

- 1-1. ガイドラインの目的
- 1-2. 設計、施工、維持管理まで一貫して活用できる BIM モデルの作成
- 1-3. BIM を一貫して活用するためのワークフローの標準化
- 1-4. BIM を一貫して活用するために必要な情報の流れとメリット

【黄色部】

2. BIM ワークフロー

2, 3, 4, 5 章立てによる構成は、シンガポール BIM ガイドを参考としている。

- 2-1. 業務区分の考え方と役割分担
- 2-2. 各ステージの業務内容

【資料7】

英国 BIM 標準 BS 8536-1 設計と建設のプリーフィング - 第1部：施設管理のための実践規範（建物のインフラ）など、FM やオーナーのための BIM ドキュメントを参考に盛り込まれるか今後検討。

- (1) S0 企画・調査
- (2) S1 基本計画
- (3) S2 基本設計
- (4) S3 実施設計1
- (5) S4 実施設計2
- (6) 契約業務
- (7) S5 施工
- (8) S6 引渡し
- (9) S7 維持管理

【資料8】

英国 RIBA Plan of Work 2013 Guide をベースに英国 BIM 標準 BS7000-4(2013)設計管理システムや PAS1192-2 設計・施工段階の情報管理・共有方法を参照しながら、日本版に改訂検討していく。

3. 成果物

- 3-1. 各ステージの成果物
- 3-2. 各ステージの BIM による成果物
- 3-3. 業務報酬

【資料9】

3（業務報酬以外）はシンガポール BIM ガイドを参照予定。

4. エレメント別のモデリングガイド

- 4-1. 建築用エレメントのモデリングガイド
- 4-2. 構造用エレメントのモデリングガイド
- 4-3. 設備用エレメントのモデリングガイド

【資料10-1、10-2】

4はシンガポール BIM ガイドやBLCJのモデル整理を参照予定。

5. BIM 実行計画

- 5-1. BIM 実行計画（EIR/BEP）の目的
- 5-2. EIR のテンプレート例（書式雛形）
- 5-3. BEP のテンプレート例（書式雛形）

【資料11】

5-1 は英国 BIM 標準 PAS1192-2 設計・施工段階の情報管理・共有方法などを参照予定。

5-2、5-3 の EIR, BEP は米国ペンシルベニア州立大学やケンブリッジ大学の EIR, BEP、JFMA の FM ガイドラインの BEP 等を参照予定。

用語の定義

※上記資料6～11は検討段階のイメージであり、ご意見をお伺いしながら今後詳細に検討していく予定。